

令和4年度

# 長期社会体験研修

報告書 第27集



和歌山県教育委員会

## 令和4年度研修員からの報告

【研修先】 和歌山大学協働教育センター（クリエ）

【期 間】 令和4年4月～令和5年3月

【学校名】 和歌山工業高等学校

【職 名】 教諭

【氏 名】 勝浦 友貴

【研修内容】

- 主体的な学びの活動であるPBL（問題解決型学習）型教育の研究
- 和歌山大学システム工学部 化学メジャー科目の講義・実習に参加
- 科学イベントの運営補助
- 工作機械に関する知識・技術の向上

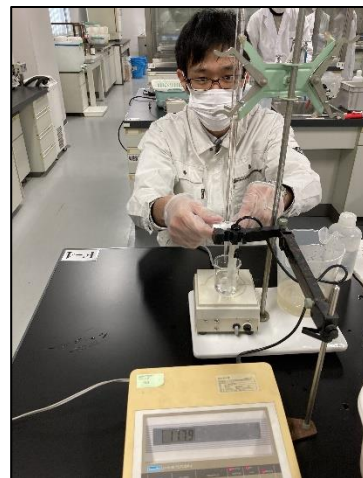
【研修成果】

高等学校においては、昨年度から新学習指導要領に則ったカリキュラムが始まり、主体的・対話的で深い学び（アクティブ・ラーニング）の視点から「何を学ぶか」だけでなく「どのように学ぶか」を重視して授業を改善することが求められている。

今回の研修で学んだPBL型教育は、まさにその「どのように学ぶか」をカリキュラムの中に取り込むものであった。自校の工業高校における実習や課題研究では、従来から生徒が自ら課題や問題を設定し、そのことに関して調査や議論をさせてきたが、さらに今回のPBL型教育の手法を自らの教育実践に取り込み、生徒が自分の考えを深め、課題や問題を見いだして解決策を考えたり、自分の思いや考えをもとに創造したりすることに向かう「深い学び」を実現できるようにしたい。

システム工学部化学メジャーの講義・実習においては、分析機器の原理や操作方法についての内容だけでなく、これまでに使用したことがない分析機器にも触れることができた。また、多くの方々と交流をすることで、広い視野を持つことができたことや、高校・大学・産業界が連携協力して教育活動を行う「高大産連携活動」のきっかけをつくることができた。学校に戻った際には、高大産連携活動にも積極的に取り組みたい。

大学の講義では、授業に関する動画がネットワーク上で視聴できるようになっており、講義・実習前に実験の概要や器具・薬品の取り扱い方などについて、事前に学習できるように工夫されていた。高校においても、一人一台端末が配備されていることから、事前に授業に関することや化学実験についての動画を視聴させることにより、学習に対してのイメージが膨らみ、より知識を定着させ、理解を深めさせることができるようになると思う。これまで授業の中で、化学に関する基礎知識や、実験の意義や手順をしっかりと理解させ、定着させることに試行錯誤していたため、このような学習方法も積極的に活用してみたい。



【研修先】 和歌山県子ども・女性・障害者相談センター

【期 間】 令和4年4月～令和5年3月

【学校名】 和歌山さくら支援学校

【職 名】 教諭

【氏 名】 榊 清史

【研修内容】

- 一時保護所の日課に沿った生活指導（学習保障、体育、刺繍、食事指導）
- 日常生活を送る上での行動観察
- 担当ケースワーカー、児童心理司との観察会議

【研修成果】

和歌山県子ども・女性・障害者相談センター一時保護課（以下、一時保護所）は、18歳未満の被虐待児や、虞犯少年、法に触れる行為を行ったとされる触法少年の安心と安全を確保する為の一時的な避難場所である。

衣食住の保障された安心安全な場で生活し、心身の健康を回復することや、自分自身と向き合い今後の生活について考え、その間に担当ケースワーカーとの対話や、担当児童心理司による新版 K 式発達検査や WISC、WAIS、田中ビネーなどの知能検査、バウムテストや SCT、PF スタディなどの投影法を行い、発達上の特性を把握し、より社会で過ごしやすくするための検討や環境調整を行う。そして、最終的には家庭復帰や社会的養護（里親、児童養護施設、児童自立支援施設）の場へとつなぐ。保護期間は原則として2か月未満とされている。

保護されてくる子供たちの多くは、家族としての機能がうまく働いていなかったり、生活が昼夜逆転していたりと、基本的な生活習慣が確立されていない児童も少なくない。一時保護所に保護されてすぐの頃は、周囲の児童の様子を見て行動することや、ほうきの使い方、洗濯物のたたみ方、食事の作法などが身に付いていない児童もいたが、1週間もすると他の児童と足並みを揃え、生活ができるようになってくる。一時保護所の生活は、日課として定められたものがあり淡々としたものだが、生活環境が不安定な子供たちにとって“生活リズムがはっきり”していることは、安心感につながり、本来の姿を出せる大切な要素だと感じた。また、毎日同じ生活を繰り返す環境では、児童の小さな変化にも気付きやすい。職員が児童の小さな変化に気付き評価をすることで、児童自身が“できた自分”や“不得手な自分”にも気付くことができる環境でもあった。

児童相談所の強みの一つとして、一つの場に社会福祉士や児童心理司、医師、看護師、保健師、教師、保育士、警察官、弁護士がおり、“多職種の協働”が挙げられる。一人の人間が一人の児童を支えることには、限界があり危険も伴うが、それぞれの職域の強みを生かし“多面的に児童を理解”することで、より適切な処遇につながる。一人の児童の人生に介入することは容易なことではないが、多職種との協働を意識しながら一人の児童を支えるために一緒に働くことができたことは、今回の研修での一番の成果であった。



【研修先】 株式会社サイバーリンクス  
【期 間】 令和4年4月～令和5年3月  
【学校名】 橋本市立紀見東中学校  
【職 名】 教諭  
【氏 名】 酒井 祥平

【研修内容】

- ネットワークについての学習
- GIGA 端末のリカバリ・確認作業
- アクセスポイント・スイッチの設定
- ネットワーク構成図の作成
- 端末のキッティング作業・現地展開
- VBA や PowerAutomate を活用したファイルの作成

【研修成果】

研修受講に当たり、ネットワークについての知識が乏しいこともあり、専門性の高い知識や技術を学べる機会としたいと考えていた。また、企業と学校現場の関わる機会が増えてきている現状に対し、私自身は学校現場しか知らず、当初は企業のことは全く分からなかった。学校現場に戻った際に簡単なことはサポートできるように力を付けるとともに、企業と行政などがどのような形で関わり、どのようなことをお互いが求めているのか実際に見て感じることで、今後の学校現場での企業との関わり方につなげていきたいと臨んだ。

研修を通して、自身のネットワークや ICT を活用するスキルに関して、成長できたと感じる。また、企業側の一員として学校に関わることで所属校以外の ICT に関する問題や実践方法などを知ることができた。ペーパーレスの時代のため、書類等は紙媒体でなく、データ管理にしてもよいかと感じた。

学校現場においては、全体的にスムーズな GIGA 端末の運用ができるように、問題が起こった場合、全てを企業への対応にするのではなく、学校で対応していくことも必要であると感じた。自身が学校へ戻った際には、そういう存在になれるよう努力していく所存である。

本研修を終えて、自身の ICT 活用力に自信がついただけでなく、学校現場を客観的にみる場面もあり、教員の仕事の良さに改めて気付くことができた。IT 系の会社で働く中で、パソコンやグループウェアを1年間毎日使用したことで、今後の働き方改革に向けて現場に還元できそうなこともあった。非常に有意義な研修とすることができた。

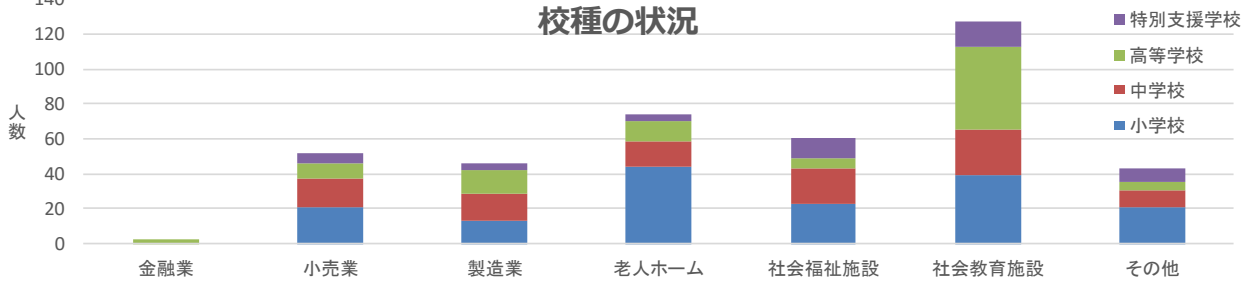




# 27年間の研修先について

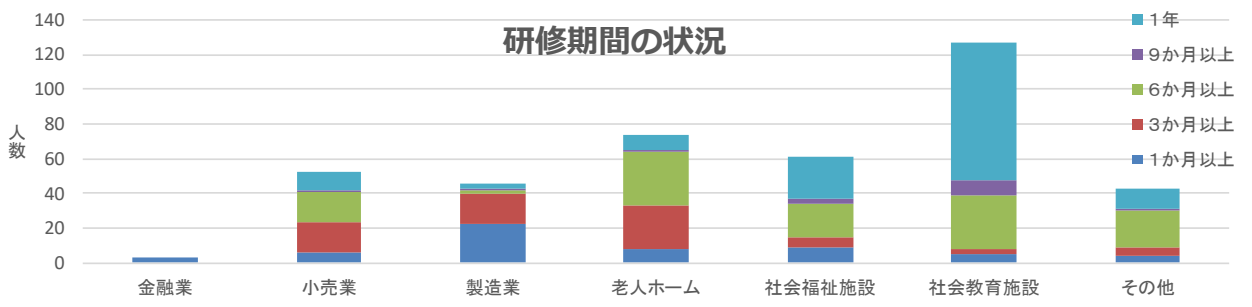
【研修先 / 校種別 人数】

校種	金融業	小売業	製造業	老人ホーム	社会福祉施設	社会教育施設	その他	計
小学校	0	21	13	44	23	39	21	161
中学校	0	16	16	15	20	26	10	103
高等学校	3	9	13	11	6	48	4	94
特別支援学校	0	6	4	4	12	14	8	48
計	3	52	46	74	61	127	43	406



【研修先 / 研修期間別 人数】

研修期間	金融業	小売業	製造業	老人ホーム	社会福祉施設	社会教育施設	その他	計
1か月以上	3	6	22	8	9	5	4	57
3か月以上	0	17	18	25	6	3	5	74
6か月以上	0	18	2	31	19	31	21	122
9か月以上	0	1	1	1	3	8	1	15
1年	0	10	3	9	24	80	12	138
計	3	52	46	74	61	127	43	406



【研修先名称】

※印は令和4年度の派遣先(13年度より中核市:和歌山市を除く)

業種等	名称	業種等	名称
社会教育施設 (23か所)	(社)和歌山県青少年育成協会 紀北青少年の家	製造業 (9社)	日本たばこ産業株式会社 橋本工場
	(社)和歌山県青少年育成協会 白崎青少年の家		ノーリツ鋼機株式会社
	(社)和歌山県青少年育成協会 潮岬青少年の家		花王株式会社 和歌山工場
	和歌山県国際交流協会		和歌山精化工業株式会社
	和歌山県立近代美術館		東燃ゼネラル石油株式会社 和歌山工場
	和歌山県立紀伊風土記の丘		小川工業株式会社
	和歌山県立博物館		株式会社 ユアサ
	和歌山県立図書館		協和プレス工業株式会社
	和歌山県立紀南図書館		菱岡工業株式会社
	和歌山県立自然博物館	老人ホーム (11か所)	社会福祉法人 皆楽園
	和歌山県世界遺産センター		特別養護老人ホーム 喜成会
	和歌山大学クロスカル教育機構 生涯学習部門		特別養護老人ホーム ときわ寮
	和歌山大学地域連携・生涯学習教育研究センター		特別養護老人ホーム 田鶴苑
	和歌山大学協働教育センター(クリエ)		特別養護老人ホーム ときわ寮川辺園
	和歌山大学地域イノベーション機構 地域活性化総合センター		特別養護老人ホーム 愛の園
	かわべ天文公園		特別養護老人ホーム 真寿苑
	みさと天文台		特別養護老人ホーム 古座川園
	国立淡路青年の家		特別養護老人ホーム しみず園
	和歌山公園動物園		特別養護老人ホーム けんゆう苑
	南方熊楠記念館		清水町高齢者福祉センター
	和歌山市民図書館	その他 (16か所)	和歌山農業協同組合連合会
	太地町立くじら博物館		県農協共済福祉協会 クアハウス白浜
	有田川町立御霊保育所		紀の里農業協同組合
社会福祉施設 (8か所)	社会福祉法人 ふたば福祉会		ながみね農業協同組合
	知的障害者更生施設 杉の郷		ロイヤルバインズ株式会社
	社会福祉法人 桃郷 つくしんぼ園		紀州南部ロイヤルホテル
	和歌山県知的障害者更生施設 由良あかつき園		株式会社 串本海中公園センター
	和歌山県子ども・女性・障害者相談センター		国保野上厚生総合病院
	社会福祉法人 和歌山つくし会 和歌山つくし医療・福祉センター		ホテル アバローム紀の国
社会福祉法人 新宮市社会福祉協議会	公立学校共済組合サンかつうら		
社会福祉法人 愛徳園 愛徳医療福祉センター	山県株式会社(ルミエール華月殿)		
小売業 (4社)	株式会社 丸正	ウィンワックス株式会社	
	株式会社 和歌山近鉄百貨店	株式会社キャリア・プレシユ(ジョブカフェわかやま)	
	株式会社 オークワ	一般社団法人 田辺市熊野ツーリズムビューロー	
	Aコープいなみ	新宮市観光協会	
金融業(1社)	株式会社 紀陽銀行	株式会社サイバーリンクス	
		計	72企業・施設等